

同く

同く

夜にけしきも初ほくまに居てはかきく

是くは花の香遠きもの
夜のむしのをさうまに
花の丸月の雲舟は
のりこのなめし
落花為葉の狼藉を
しき月とともも
くしり来さあ
もあけ
はまねけりうら

